

私立大学図書館協会東地区研究部  
2006年度第4回運営委員会議事録

日 時 : 2006年7月7日(金) 15:00~17:15  
場 所 : 東京経済大学 6号館 7階・小会議室  
出席者 : 秋沢久美子(駒澤大学)、五十嵐明子(法政大学)、石原智子(慶應義塾大学)、  
久世泰子(東京経済大学)、佐藤研一(立正大学)、野口真生(大正大学)、  
前之園香世子(昭和女子大学)  
渡辺美好、相田 勉(研究部担当理事校・国士舘大学)  
欠席者 : 長岡三智子(早稲田大学)

議 題 :

1. 2006年度研究会(交流会)について

研究部担当理事校より、(資料 1-1~4)に基づいて説明があり、案内状・参加申込書案がともに了承された。研究分科会活動報告の依頼先として、レファレンス研究分科会と相互協力研究分科会が候補として決まった。両研究分科会がそれぞれ夏期研究合宿で行く見学先は多くの人に関心が得られ、業務の参考になると思われる。講演の講師については研究部担当理事校より提案のあった福田博同氏が候補として承認された。依頼する講演テーマは、図書館ホームページに関してである。

2. 2006年度夏期研究合宿(集中研究会)実施計画について

月例会担当理事校より、(資料 2-1~2)に基づいて説明があり、2006年度夏期研究合宿は5研究分科会が、集中研究会は5研究分科会が実施する。実施しない研究分科会は4研究分科会であるとの報告があった。月例会開催地近圏から外れた地での合宿については原則の尊重に留意したうえ、今後の運営について継続審議することとなった。

3. 研究部予算について

研究部担当理事校より、(資料 3)に基づいて説明があり、次年度繰越金が年々増えているので、これを減らすと共に研究分科会の活性化のため、分科会特別助成金の活用を検討することになった。

4. 研究分科会予算について

研究部担当理事校より、(資料 4-1~4)に基づいて説明があり、分科会助成金の割り振り方法が決まってから長年月が経ち研究分科会の会員構成も変わっているため、基本金・割増金の見直しに関し、会員の年会費を減らして研究分科会への参加をやすくすること、合宿・集中研究会に使用できる助成金の予算科目等を検討したが、さらに継続審議することとなった。

以 上